

教育研究所だより

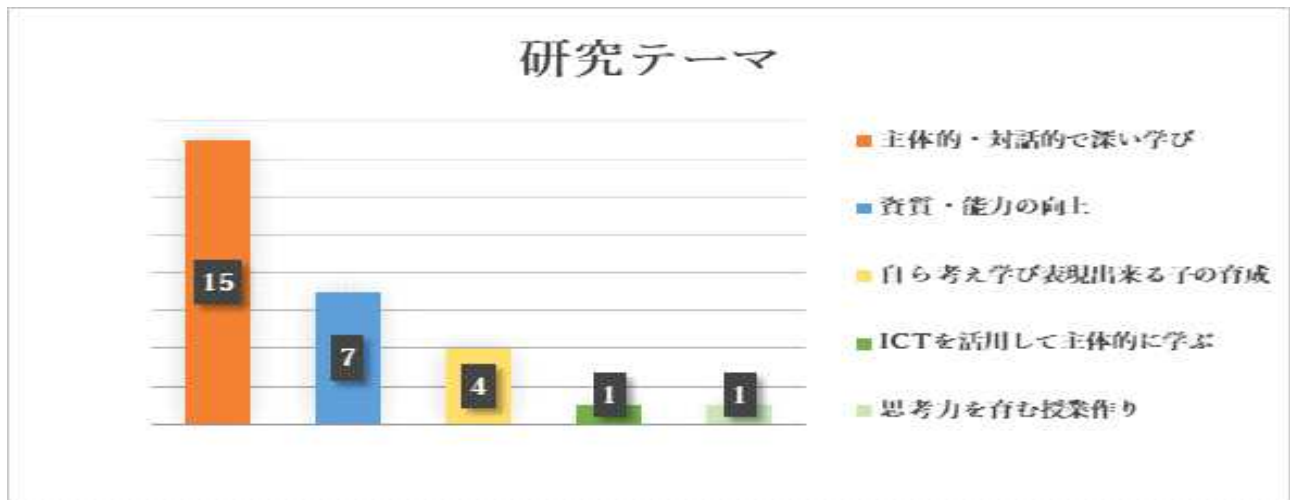


宮古島市立教育研究所
 所員 羽地 留美
 宮古島市平良字西里1140
 TEL 73-1104

第10号では、宮古島市の各小中学校の校内研修テーマの概要を紹介するとともに、各学校の研究内容からキーワードをピックアップし、本市全体の授業改善の方向性の明確化を図りたいと思います。なお、本号に活用した資料は、宮古教育事務所 校内研修担当指導主事 安田一博氏からご提供いただきました。

宮古島市小中学校の校内研修の分類

<資料1 研究テーマのジャンル>
 (数字は学校数)



<資料2 研究内容のキーワードの抜粋>

- ① 問いを持たせる発問の工夫、問いを持ち探求する生徒の育成
- ② 思考力・判断力、表現力等を育成するための対話的・協働的な学びの充実
- ③ 学校で育成を目指す資質能力をはぐくむ授業
- ④ 支持的風土の醸成（自己肯定感、集団づくり、協働的学び）
- ⑤ 単元プランシートの活用した指導と評価の一体化
- ⑥ 自己の考えを表現（「書く力」「伝え合う力」「つなぐ力」）を身につけさせる
- ⑦ 確かな読みの力（読み解く力）を育てる、言語活動を核にした学習の推進

<所感> 研究所員 羽地 留美

今回調査をして、本市の小中学校で最も多く研究されているのが、資質能力の育成を目指した「主体的・対話的で深い学び」の実現におけた授業改善であることが分かりました。

調査しながら、学校現場で課題解決に向け試行錯誤する先生方の姿が頭に浮かびました。各校の先生方が、熱心に研究を進める中で、子供たちがどう変化していくのか、授業がどう変わっていくのか、これからが楽しみです。